平成２７年度　第５回理事会議事録

開催日時：平成２７年１２月５日（土）　１３:００～１５:００

開催場所：済生会山口総合病院　透析室前会議室

出席者（理事）：伊藤　弘 三輪光良　堀　健司　齋藤康博　大平知之

河村裕介　小田真一郎　山野井健　茨　久典　新町浩太郎　松永千晶

池田隆志　齋藤茂治　平嶋　修　丹羽英彰

出席者（監事）：高山裕健　齊藤右司

欠席者：山内秀一　渡邊征二　上田亜希子　内山茂信

以上、定款第３３条の規程により理事の過半数の出席で理事会は成立。副会長　伊藤　弘が議長となり、定款第３４条に基づく出席者の中より、議事録作成人として齋藤茂治理事、議事録署名人として茨　久典理事、新町浩太郎理事を選出した後、次の議案を付議した。

**議題１　諸規程（経理規程：予算作成）の変更について**

伊藤副会長

　資産及び会計の定款（事業計画及び収支予算）に対して諸規程（経理規程：予算作成）の文言に一部相違があるため、諸規程の変更案を提示する。

　定款第４２条が、

「この法人の事業計画書、収支予算書については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。」となっているのに対し、

　現行の諸規程第７条は、

「経理担当常任理事は、会計年度内に、次年度の事情計画の決定に基づき、収支予算を作成し理事会の承認を得、総会に提出し決議を求める。」とあり、定款第４２条に合っていない。

　**変更案**として、

第７条　経理担当常任理事は、会長の指示により、事業計画書に基づいて収支予算書を作成し、理事会の承認を受けなければならない。

　下線の部分が新たに変更される部分。

　採決をとる。

　諸規程（経理規程：予算作成）の変更について

賛成　１７人　反対　０人　保留　０人

議題１　諸規程（経理規程：予算作成）の変更については可決された。

平成２７年１２月５日改定。

　平成２７年１２月５日より施行とする。

**議題２　役員選任委員会の設置について**

伊藤副会長

　来年度は、役員選任の年で、役員選任規程第２条に「選任を行うために理事会の承認を得て役員選任委員会を設ける。」に基づき役員選任委員会を設置する。

　現、役員選任委員長は、中川委員長である。委員長は、委員を招集して役員選任委員会を設置する。

　採決をとる。

役員選任委員会の設置について

賛成　１７人　反対　０人　保留　０人

議題２　役員選任委員会の設置については可決された。

**議題３　総会議案の変更について**

齋藤常任理事

　定款にしたがって総会の議事進行の変更について審議する。

　**従来（前年）の総会進行**

１．議長選出

２．議事

総括

　　　　 第１号議案　平成２５年度会務報告　　平成２５年度事業報告

　　　　 第２号議案　平成２５年度決算報告

　　　　 第３号議案　平成２５年度監査報告

　　　　 第４号議案　平成２６年度事業計画（案）

　　　　 第５号議案　平成２６年度予算（案）

　３．選挙

　４．次期開催地

　５．その他

今年度より定款に基づいて新しい議事進行に変える。

**変更案の総会進行**

１．議長選出

２．議事

　　　 [平成２７年度報告事項]

１．平成２７年度会務報告

２．平成２７年度事業報告

３．公益目的支出計画実施報告

　　　　公益目的財産残額がいくらで、あと何年で完了する予定かを　　報告する。

　　　　　 第１号議案　平成２７年度決算の承認

　　　　　　　　　　　いつものように経理担当理事が決算書を説明し、監事に監査報告をしてもらい、さらにこの決算は、理事会で承認を得ていることを経理担当理事が報告してから採決する。

　　　　　 [平成２８年度報告事項]

１．平成２８年度事業計画

２．平成２８年度予算

　　　　予算、事業計画の報告後、定款第４２条に基づき、理事会の承認済みであることも報告する。

　　　　　第２号議案　　平成２８年、２９年度役員選任

３．表彰

　　　４．次期開催地

　　　５．その他

　「報告事項」と「議案」が混在するが、採決をとるかとらないかの違いだけで、議事進行は、今までどおりということになる。

堀常任理事

　第１号議案の中に、報告事項ではなくて、平成２７年度報告事項、次いで２番目に第１号議案があって３番目に平成２８年度の報告事項があり４番目に第２号議案とそれぞれ独立して項目が並んでいるが。

齋藤常任理事

　議案としては、第１号議案が、平成２７年度決算の承認、第２号議案で、平成２８年、２９年度の役員選任となる。

伊藤副会長

　なぜこのような議事進行を提案するかについて説明する。

　　定款第１４条　総会は、次の事項について決議する。

（１）会員の除名

　　　（２）理事及び監事の選任又は解任

　　　（３）理事及び監事の報酬等の額

　　　（４）貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認

　　　（５）定款の変更

　　　（６）解散及び残余財産の処分

（７）その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

定款第１４条は上記のようになっている。

　したがって、会務報告、事業報告、監査報告、事業計画、予算は、総会での決議は必要なく報告事項とし、第４項にあるように決算に関わる事項を議案とする。

それとこのたびは新たに役員選任をする年なので、第２項も議案となり、今回は２議案になる。

堀常任理事

　報告事項は、理事会の承認のみで総会の承認は必要ないのか。

伊藤副会長

　総会の承認は必要ない。

　今までは、総会で５回の採決が必要だったのが、２回の採決で済む。

　採決をとる。

　総会議案の変更について

賛成　１７人　反対　０人　保留　０人

議題３　総会議案の変更については可決された。

**議題４　後援申請について**

齋藤常任理事

　山口Volume CTセミナー、山口CTテクノロジーセミナーの後援申請を行う。継続の申請となる。

大平常任理事

　後援の期間は、何年か。

齋藤常任理事

　後援の期間は、５年。

講習会の代表が業者の名前になっているが、診療放射線技師ではいけないのか。

代表者が業者の名前だと事務処理が滞る。

大平常任理事

　講習会の代表者が、主催者である業者の名前でないと開催できない。技師会のポイントが付く講習会では、代表者が診療放射線技師である割合が多い。

齋藤常任理事

後援の申請が各講習会によってまちまちになっており、今後は年度（4月1日）に調整を行いたい。新しく申請される講習会も、既存の講習会も同様に行いたいと思うのでご協力をお願いしたい。そうする事で、4月理事会ですぐに承認が行えるメリットがある。

　後援申請の方法については再検討が必要か。

伊藤副会長

　山口Volume CTセミナー　、山口CTテクノロジーセミナーの後援申請の承認採決を行う。

　後援申請について

賛成　１７人　反対　０人　保留　０人

議題４　後援申請については可決された。

**検討事項**

**総会での「役員選任」に関する議事について**

堀常任理事

**役員選任の業務**は、役員選任規程の第４条にある。

総会では、第４条のうち（１～２,４項）の業務になる。

（１）役員の立候補者届の受理、資格審査及び立候補者の氏名の発表

（２）総会への役員選任における議案の提出

（４）立候補者の受付の告示は総会開催日の６０日（補欠選任の場合３０日）前と

　　し、１０日前までに立候補者一覧表を技師会事務局へ提示する。

　役員選任委員会の任務は、総会への役員選任における議案の提出まで、役員選任は総会議案として、以下は議長が議事進行する。

　**役員選任方法**

　第８条　役員選任は、立候補届のあった者につき総会において次の順序により行う。

（１）当該総会において選任する役員の員数について審議し、有効票数の過半数の　承認により決議する。

挙手による有効票数の過半数の承認により決議する。

立候補者が定数以内で、選出したい人数と同数であれば、この決議は必要な

い。

　　（２）立候補者の員数が前号の議決により定めた員数を超える場合は、得票順に前号

より定めた員数までの者を役員候補者に選出する。

　　　　　挙手により有効票数の過半数の承認により決議する。

　　　　　立候補者が定数以内で、選出したい人数と同数であれば、この決議は必要な

い。

　　（３）定款第１９条に基づき各候補者ごとに過半数の承認を得た者を理事および監事

に選任し、決議する。

　　　　　理事および監事の選任は候補者全員について一括して過半数の承認を得る方法

　　　　　をとる。

　　　したがって、立候補者が定数以内であれば、（１）（２）の作業は必要ない。

　　会長、副会長及び常任理事は、理事会の決議により理事の中から選定する。

　　　総会閉会後、同日開催の理事会において会長、副会長及び常任理事を理事の中

から選定する。

伊藤副会長

　総会の議事進行の流れが大きく変わるので、齋藤常任理事と堀常任理事で台本のひな型

の作成をお願いしたい。

堀常任理事

　現在、総会の役員選任の部分のみ台本のひな型を作成中。

伊藤副会長

それ以外、進行の台本のひな型を齋藤常任理事にお願いする。

齋藤常任理事

　総会、同日理事会を開催するのか。

堀常任理事

　総会開催後２週間以内に「総会議事録」および会長、副会長、常任理事を選定した「理事会議事録」を法務局に提出し、理事の登記をしないといけないので同日開催は必須である。

三輪副会長

　理事会を県民公開講座開催の前でどうか。

**報告事項**

**（１）Ｈ２８年度の総会・学術大会の進捗状況について**

齋藤理事

　**会場**

宇部市シルバーふれあいセンターの減免申請、現在、手続き中。

　手続きの詳細、２階ふれあいホール２７９席、（応接室４～５名、楽屋付）

　使用日時　５/１４（土）１２時～２２時まで、５/１５（日）９時～２２時まで借りる。

　第３講座室（９０席）は、使用日時５/１４（土）１２時～２２時まで、５/１５（日）１２時～２２時まで借る。減免３割引、空調費込みの値段、計６３３５２円税込になる。

　第３講座室は、理事会と食事をする場所に使用。

　宇部シルバーふれあいセンターは、５階建て。目的のふれあいホールは、２階にある。楽屋と講師用の応接室は、隣接している。階段で３階に行くとすぐ第３講座室がある。

　２階の倉庫には、ホールで必要な机、椅子、マイクスタンドなどがある。

　**ホテルの予約**

宇部スーパーホテルから小野田セントラルホテルに変更。

　**県民公開講座の講師のプロフィールを詳しく紹介**

　題　「心の健康と書について」

　講師　書道研究　玄游会会長　矢田　照濤先生　（やた　しょうとう）

　１９６１年生まれ　４歳ではじめて筆を持ち書に親しむこと５０年になる。

　趣味は映画観賞、１９９７年第４９回毎日書道展会員賞（グランプリ）受賞、第２９回日展入選（以降１３回入選）１９９８、２００５年、小野田市芸術文化奨励賞受賞

２００４年第４０回創玄展文部科学大臣奨励賞受賞など。

　**県民公開講座のポスター（案）**

　Ａ３　２００枚印刷する。ベースの写真は、常盤公園の写真になる。宇部市には、写真の許可を取っている。メインの写真は、宇部の街をイメージした野外彫刻になる。スポット写真として常盤公園の４か所の写真を入れている。講師プロフィールを左下に、会場の地図を右下に配置した。後援は、山口県、宇部市、宇部市教育委員会。

この方向で、印刷会社にデザイン印刷予定。

**県民講座ちらし（案）**

Ａ４で印刷する。写真を減らし文字中心に構成している。内容は、ポスターと変わらない。こちらも業者にデザイン印刷予定。

**県民公開講座のポスターの見積り比較と総会看板関係の見積り比較**

ポスターの印刷会社７社を比較し信頼性と値段の安さから業者を選びたい。

宇部市シルバーふれあいセンターの出入り業者、看板関係企業２社を比較した。

立て看板、垂れ幕、横断幕、案内板の取り付け、撤去を含んだ見積りを比較しこちらも信頼性と値段の安さから業者を選びたい。

高山監事

　ポスターの山口県放射線技師会の問い合わせのＴＥＬの下にラインが入っている。

　ちらしの山口県放射線技師会の問い合わせＴＥＬに「－」が入っていない。

　講師の写真がゆがんでいる。

河村常任理事

　「主催：」を最初に入れてほしい。

伊藤副会長

　後援の山口県と宇部市と宇部市教育委員会の後援の承諾は得ているのか。

齋藤理事

　山口県の後援は、１月中に後援申請の予定。宇部市と宇部市教育委員会は後援申請の承諾を得ている。

伊藤副会長

　「主催：」を最初の（一社）山口県診療放射線技師会の前に入れて、総会の文字は入れない。

（**２）健康フェアの報告**

堀常任理事

　「ねんりんピック山口２０１５」の健康関連イベントとして、平成２７年１０月１７日（土）から１０月１９日（月）の３日間にわたり、「平成２７年度健康フェア：やまぐちねんりんフェスタ」が山口きらら博記念公園多目的ドームにおいて開催された。

山口県診療放射線技師会も例年どおり「放射線と健康」をテーマに、骨密度測定体験（合計来場者：７２９名）、放射線パネル展示（十数名）、乳がん検診啓発（約３００名）、胃がん検診啓発（約１３０名）、被ばく相談（数名）、自然放射線展示・体験の各コーナーを設置し、体験・展示を行った。今回は乳がん検診啓発用ＤＶＤの上映、３Ｄ-画像処理展示（デモ機展示）も実施した。また、乳がん自己検診啓発用のポケットティッシュ約３,０００個を会場内で配布した。山口県内全域で開催されたねんりんピックには５０万人（選手・役員・来場者等）を目標に掲げていたが、５４万人の参加が

あった。

山口県診療放射線技師会では、前日準備の１６日(金)１１名、１７日(土)２１名、１８日(日)２０名、１９日(月)１６名、合計のべ６８名の会員に協力をいただいた。

参加者から、たくさんの意見や要望を聞いているので、今後のイベントの企画・運営にぜひとも役立たせたいと思う。

　**参加したスタッフの感想意見**「趣旨」

　乳がん検診啓発

　　技師会の冊子とティッシュを訪問者に配布した。

来年は、冊子の内容を更新し、ティッシュもあった方がよい。

胃がん検診啓発

ピロリ菌の話をすると興味深く聞く人が多かったので、ピロリ菌の冊子があるとよいと思った。

事際の撮影画像があれば、説明しやすく解りやすかったのではないか。

胃のファントム等、模型などあれば理解しやすい

骨密度体験測定

　会場の電源異常で、時間をとられた。

　栄養士会への食事指導があったのがよかった。

　栄養士会の受け入れを今後もお願いしたい。

　ブースも近くでよかった。今後も近くでお願いしたい。

全体として

　骨密度測定装置のレンタルと測定値について

　これまでキャノン（ＥＬＫ）から１万円/日でレンタルをしてもらったが、担当者からキャノンの社内規程により来年以降は、８万円/日になると言われている。来年以降も骨密度測定を実施するのであれば、予算的に無理のないレンタル料金で行えるところを探す必要がある。

　現在のところ超音波骨密度測定値についての標準化はされていない。

最後に「やまぐちねんりんフェスタ」の決算報告があった。

「平成２７健康フェスタ」の決算が２９２,８１６円で県委託料２３９,９２２円

２３９,９２２円から２９２,８１６円を引くと-５２,８９４円

５２,８９４円が会の公益事業支出となる。

（山口県診療放射線技師会予算額８０,０００円）

「やまぐちねんりんフェスタ」に係る支出はすべて事業費。（弁当代も）

辻本郷税理士法人　当会担当　長嶋さんに確認済み。

（**３）ソフトバレー大会の収支報告および感想と反省について**

丹羽理事

　**収支報告**

　平成２７年１１月２５日光市総合体育館でソフトバレー大会を開催して施設使用料が

２９,２８０円、附属設備使用料：コンセントの使用料３００円、救急用品代だが

救急箱を開けるとかなり期限切れの薬があったので１,４３９円で購入した。

保険代２,７９３円、賞品代が２９,５５２円、交通費が９,９６０円、備品：マグネット代１０８円、支出合計７３,４３２円、企業の参加料、２企業分　１０,０００円これは、会の事業費に入れる。

**感想と反省**

　今回、１時間遅く始めたが、終わる時間は、例年と変わらない。

　ソフトバレーの準備で、３０分早く来たが会場に入れず、大会準備に余裕がなかった。

　大会は、１時間遅らせてもよいが、大会の施設準備を考えると、会場は少し早く開ける方がよい。

　大会の実行委員が、試合に出ると問題が発生したときに対応が遅れる。

堀常任理事

　球技大会の会場だが、なかなか会場の確保が難しい。施設予約が６か月前からでないと受け付けないので、問題をさらに難しくしている。

丹羽理事

　ソフトバレーで６面のコートがとれればよい。

堀常任理事

　会場のよい場所があれば連絡してほしい。

**（４）予算執行状況の説明**

河村常任理事

　予算執行状況だが、現在若干下まわっている。

　地域講習会は、１１月２０日現在で、宇部、岩国、萩・長門、下関が行っているが残りの地域もよろしくお願いする。

　放射線治療ビーム測定が６７,０００円に対し執行状況が２６,０００円と少い状況だが、学術大会、女性サミット等で若干上回っているので、合計はほぼ同等である。

　定期講習会と胃がん講習会の予算が残り少ない状況なので執行時には注意が必要である。

丹羽理事

　岩国があと１回地域講習会を行うが予算は、大丈夫か。

河村常任理事

　予算は、大丈夫である。

（**５）会費納入のお願い**

河村常任理事

　各地域に会費納入のお願いを行っているが重ねてお願いする。

**その他　１**

**会長からの連絡事項（会長会議メモ）Ｈ２７ １１/２２開催**

伊藤副会長

会長会議報告

　中澤会長からの報告

　１．モダリティの高度化に伴い、大学教育から大学院教育に変更していく必要がある。

　２．これまで診療放射線技師の国家試験の委員長、副委員長は医師が担当していたが、副院長に九州大学の中村さんが就任した。

　３．大学院卒の学生が増加しているが、修士の学生を教えるためには修士以上の学位が必要となることから、大学の教育担当者は、博士号を取得する必要がある。

　その他

　１．業務拡大に関する「統一講習会」は、現在１７都道府県が実施し、２０回の講習会が終了した。業務拡大に関する「統一講習会」は、４年後までに受講を完了する必要があるため、今後年間１万人が受講できるプランを作成する。受講者が少ないと、今後発生する業務拡大を厚生労働省が認めてくれないので、受講者数を増やす必要がある。

　　　また、来年開催予定の講習会に、ＪＡＲＴから実施状況を確認する目的で３名の委員を派遣する予定である。

**山口県の統一講習会**

　　Ｈ２７年度の開催について

　　開催日：平成２８年１月３０日（土）・３１日(日)

　　会　場：パルトピアやまぐち　３階　中ホール・第２会議室

　　対　象：「静脈注射に関する講習会」既修了者

　　定　員：６０名（申込〆切：平成２８年１月１７日）

　　※１１月２６日現在の受講申込者数は２９名。

　　Ｈ２８年度の開催予定について

　　開催日：平成２８年８月６日(土)・７日（日）

　　　　　　「静脈注射に関する講習会」既受講者対象

　　　　　　平成２９年１月１４日(土)・１５日（日）

　　　　　　　全診療放射線技師対象

　　会　場：いずれも未定

　　定　員：各６０名

２．平成２８年４月よりネットワークナウを電子化し、しばらくの間紙面運用と併用す

る。その後、状況を見て紙面を廃止する方向で検討したい。紙面の廃止により約５

 ００～６００万円の経費節減になる。

３． 平成２８年２月４日に東京大学で業務拡大のシンポジウムが開催される。

４． 叙勲等表彰実態調査報告

　　　山口県は、叙勲等表彰者が、平均より多い、一番多い県は徳島県、次が山梨県、

三輪副会長

　　　　山口県は、過去に２５名表彰されている。０名の県もある。

伊藤副会長

　　　　山口県は、ほぼ毎年、申請している。

　　　　叙勲以外にも、今年、下関医療センターの村上誠一会員が平成２７年１１月２０日付で県選奨受賞された。

伊藤副会長（引き続き）

　 ５． 業務拡大に係る統一講習会および臨床現場での状況検証

 特にこの件では、受講料が高すぎるため、講習に係る経費を会員に公表するよ

うＪＡＲＴに提言していたが、この度、注腸Ｘ検査が１０,０００円と高い理由

について、機材購入費用が高額である旨の説明がなされた。

　　　　２０１５年度スタートの「業務拡大に関する統一講習会」の準備として掛かっている経費は、約２,７００万円と高額になっている。

齋藤常任理事

　　　　臨床検査技師は、講習会全員必須だそうだが、診療放射線技師はどうか。

三輪副会長

　　　　診療放射線技師は、努力目標なので義務付けではない。

河村常任理事

　　　　病院で事故が起こった場合、病院側が「どういう努力をしてきたか。」と問われた時に「何もしていませんね。」という事態になる。

　　　　統一講習会は、努力目標ではあるが・・・。

伊藤副会長（引き続き）

　 6．　各県における本会事業の経理処理について

　　　　ＪＡＲＴと各県の共催事業の会計処理が不明瞭となっている事から、会計処理を変更する。

ＪＡＲＴと県が共催事業をする場合は、助成金として処理する。

共催事業は、現在、フレッシャーズセミナーのみである。

　７．「医学物理士の国家資格化に関する日本診療放射線技師会の考え方」

　　　　を日本診療放射線技師会誌２０１５.９　Ｖｏｌ.６２/Ｎｏ.７５５に掲載した。

　８．　第３２回日本診療放射線技師会学術大会（岐阜）

会期：２０１６年9月１６日～１８日

　９．「日本診療放射線技師連盟」の入会者が山口県は、８名と少ないことから、入会促進をお願いする。

　１０．山口県の年会費の未納者は、今現在６４名である。

**その他　２**

堀常任理事

　学術奨励賞、学術功労賞の推薦をメールで配布したと思うがよろしくお願いする。

　５月１５日の県学術総会の時に表彰する。

学術奨励賞受賞者が２～３年途絶えている。学術奨励賞候補者は、県学術総

会で３回の演題発表が最低条件。

ぜひ、学術大会演題発表の促進をお願いしたい。

大平常任理事

　今年も去年同様たくさんの演題発表を期待する。

　演題の〆切は、平成２８年２月２９日　（大平まで）

　山口県診療放射線技師会ホームページに掲載する。

伊藤副会長

　各地域の理事は、担当地域の選任委員をメールで放射線技師会事務所に知らせる。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作り、定款第34条に基づき、会長及び監事並びに議事録署名人がこれに記名押印する。

　一般社団法人山口県診療放射線技師会　平成27年度　第5回理事会

山口県診療放射線技師会会長　山内　秀一

代表議事録署名人　理事　茨　　久典

理事　新町浩太郎

監事　高山　裕健

監事　齋藤　右司